



別海町長

水 沼 猛

輝かしい希望に満ちた新年をご家族お揃いで迎えられたことと、謹んでお慶び申し上げます。

皆様には、日頃から行政の推進に温かいご理解とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

私にとりまして昨年は、町内の大勢の方々から力強いご支援を賜り、3期目の就任をさせていただいた年となりました。

町民の代表として、重要課題が山積する町政を担当させていただく責任を重く受け止め、皆様の期待に添えるよう、新年を迎え決意を新たにしております。

さて、昨年を振り返りますと、9月の鬼怒川の氾濫をはじめとする自然災害が全国的に猛威を振るう中、本町でも1月の記録的な大雪に続き、8月の集中豪雨や10月の台風23号による災害で、各方面に被害が発生しました。

本町では、これらの自然災害に対して平成26年に別海町地域防災計画を策定し、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を防災の基本方針として取り組んでおります。本年2月には、全道では初めてとなる災害時避難施設が野付半島に完成し、漁業従事者や観光客の皆様を災害から守る新たな施設が誕生します。

また、国内の情勢としては、昨年10月にPPPの大筋合意がなされました。

本町の産業に大きくかわる牛肉や乳製品の交渉結果が明らかになり、セーフガードの発効や、関税撤廃までに長期間を確保するなどの内容となっていることが分かりました。

11月には、PPP関連政策大綱が決定されましたが、町では、引き続き関係機関等と連携して、本町酪農に与える影響等について情報を共有しながら、国会での議論を注視していきたいと考えております。

このような状況の中、昨年の本町を振り返

りますと、酪農畜産の情勢としては、町内における牛乳生産は、昨年1月から10月末で前年と同じく38万5千トン、生産額では前年対比45%増の365億7千万円となっております。生産実績では前年を上回る状況です。

次に、漁業では、主要漁業であります秋サケ定置網漁において町全体での水揚げ数量が、15%増の7,268トン、金額でも20%増の35億8千万円と、平成26年の実績を上回る結果となりました。昨年に続く豊漁を願いつつ、今後は水揚量に左右されない取組として、付加価値向上による消費と販路の拡大支援策を考えております。

続いて、観光分野では、昨年10月末現在における本町の観光入込客数は、平成26年と比べ減少しましたが、その要因としては、「別海町産業祭」の初日が大雨であったことに加え、「西別川あさあじまつり」が、台風の影響で中止となったことによるものと考えております。

観光施設の状況としては、道の駅の来客者数が8%増、尾岱沼キャンプ場利用者が16%増と増加傾向にあることから、今後も交流人口の増加を目指し、食や自然を活用した体験型・滞在型観光の推進を図ってまいります。

商工業では、別海町商工会が国の「地域消費喚起・生活支援等交付金」を活用した「プレミアム商品券」を販売いたしました。プレミアム分を含む発行額は1億9千5百万円となり、個人消費の拡大と町内中小企業の活性化に効果が発揮されたものと考えております。

その他にも、平成26年に民間譲渡した特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターは、昨年9月に新しい施設が完成し、11月1日から供用が開始されています。

高齢化社会にあっても、住み慣れた地域で安心して生活を送ることが出来る環境づくりは急務であり、新施設の果たす役割は大変重

要であると考えております。

多様で柔軟なサービスの提供が可能な民間の活力に大きな期待をするとともに、町としても、新施設への移行に伴う利用者の経済的負担の軽減を図り、安心して生活し続けられるよう必要な財政支援を行ってまいります。

また、昨年は今後が続く新たなまちづくりのスタートの年でもありました。

国による地域の人口減少と経済縮小の悪循環の連鎖に歯止めをかけるための「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、本町でも「別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向け作業を進めています。

加えて、防衛省所管の「まちづくり構想策定支援事業」を活用し、(仮称)生涯学習センターの整備を含む「矢野別演習場周辺まちづくり構想」の策定作業にも着手しました。策定にかかわり、町民の皆様の参加機会として、昨年はアンケート調査や第1回目となる住民懇話会を開催したところです。

構想の策定から建物の完成までには長い時間が必要とされるため、町民の皆様のご協力を引き続きお願いいたします。

本年も、「みんなできつろろろ郷の未来」を合言葉とし、公正、誠実で気軽に話し合い、本町総合計画の目標である「人が輝く、まちが輝く、自然が輝く」魅力あるまちづくりを行い、次の世代に引き継ぐためにも、「町民参加と協働」、「情報共有」を原則とした協働のまちづくりに、誠心誠意努力する所存でございますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

年のはじめにあたり、町民の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、私のごあいさつとさせていただきます。



別海町議会議員

松原政勝

町民の皆様 あけまして 本年もよろしくお

町民の皆さま、あけましておめでとうございませう。平成28年の輝かしい新春を、健やかに過ごさうのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より議会運営に温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内では日本人2名のノーベル賞受賞の吉報や豪雨による喜怒哀楽、くい打ちデータ改ざんの凶報など、様々な出来事がありました。また、道内では、釧路管内へ高速道路が延伸し、道東へも大きな経済効果をもたらしました。さらに、本年3月26日に北海道新幹線が開業されることとなり、道内はもとより本町への経済効果も期待するところでありませう。これからの地域づくりの養分にしたと考えています。

さて、昨年の天候は年当初の大雪により豪雪地域並みの雪が降りました。夏から秋にかけては台風の直撃や台風並みに発達した低気圧により、沿岸地域や低地部では大きな被害が出現した。あらためて環境対策の推進や災害に強い安全で安心できるまちづくりに取り組んでいかなければならないという思いを強くしたところでありませう。

TPP交渉が大筋合意したことで農業者を中心に懸念が強まる中、本年夏の参院選挙から選挙権年齢が18歳以上に引き上げられます。政府が実施する政策が国民の声を十分反映させているか、景気回復を実感できるものとなっているかなど、確認する主

張を持ち参政してほしいところでありませう。人口減問題や少子高齢化等の社会的不安はありますが、地域社会の崩壊を招かないよう若い力の参画に期待するところでありませう。

さて、我が国の経済は、外国人観光客による「爆買い」効果は国内消費年間3兆円を超える見通しですが、国民の景気回復の実感はなく一億総活躍社会の実現を願うところでありませう。実体経済は依然定踏み状態の模様で、地方景気の回復の兆しは見えてきませんが、政府はデフレ脱却に向けて経団連に継続的な賃金値上げを求めており、それに応え、経団連会長は企業に対し、昨年を上回る賃金引上げを期待すると述べており、その効果を期待しながらこれまで行ってきた地域活性化や雇用創出等の対策をさらに進めてほしいと考えています。

一方、地方自治体は自主財源が乏しく厳しい財政状況の中、創意工夫しながら諸課題に取り組まなければなりません。本町においても、各産業の振興や人口減少社会への対応並びにインフラ整備などの地域課題が山積してあります。これから平成28年度予算について大詰めの編成作業が進められることとなりますが、住民自治の担い手である町民の皆さまの情熱や知略が大きいものと考えています。

また、議会もその役割はますます重要になっており、町民の代表として地域に偏

ことなく、民主的な議論により政策等を決定し、町民から受けた負託の責務と役割の大きさを深く自覚しながら、チェック機能として研鑽を重ね政策提言などの活発な議会活動に引き続き取り組んでまいります。

今年も議会改革を進め、町民の皆さまの声を行政に反映させるよう努力してまいります。

本年も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

